



東京警察病院
Tokyo Metropolitan Police Hospital

院内トリアージ実施について

当院では緊急度の高い患者様を優先して治療する院内トリアージ体制を取り入れています。

時間外、深夜、休日等には救急センターのスタッフが患者様の状態を確認の上、緊急度と重症度を判定して、各度合いが高い方から順に診察を行います。

そのため、診察の順番が前後する事がございますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

また待ち時間が長時間の場合には、再度確認させていただきます。なお、症状に変化があった場合は、遠慮なく受付へお申し出ください。

救急診療時間帯の重症患者様への迅速な治療のため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

院内トリアージ実施基準

1 目的

- ①生命や身体を脅かす病態の患者様を、多数いる外来患者様の中から迅速に見極め、適切な診療・治療の優先順位、診療場所・待機場所を決定し、適切な治療が素早く開始されることを、第1の目的とする。
- ②待機患者様の再評価と必要な看護介入を決定する事を第2の目的とする。

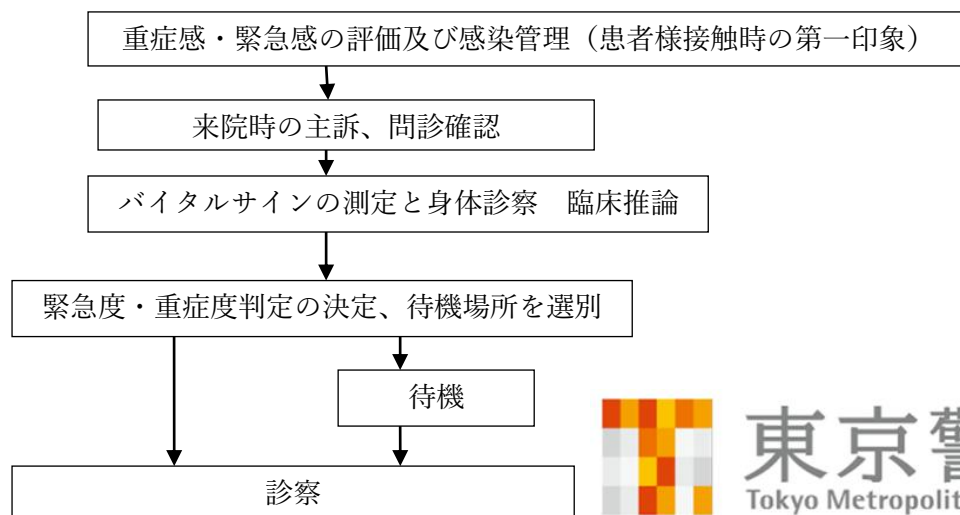
2 トリアージの判断基準（JTAS に準拠する）

緊急度判定レベル	診察の必要性	症状の特徴例	再評価の目安
レベル1（蘇生）	積極的な診療・治療が必要	心停止・持続する痙攣・高度な意識障害・重症外傷など	治療継続
レベル2（緊急）	10分以内に診察が必要	心原性胸痛・激しい頭痛や腹痛・自傷行為など	15分ごと
レベル3（準緊急）	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧・痙攣後の状態（意識回復）など	30分ごと
レベル4（低緊急）	1時間以内に診察が必要	尿路感染症・縫合を必要とする創傷（止血済み）など	1時間ごと
レベル5（非緊急）	2時間以内に診察が必要	軽度のアレルギー症状、軽度外傷など	2時間ごと

3 院内トリアージの流れ

- ①受付 ②主訴や問診確認 ③トリアージの実施 ④診察または待機

4 院内トリアージのプロセス



東京警察病院
Tokyo Metropolitan Police Hospital

2026年5月 作成